

令和 5年度 高等部 1年 (II課程A類型①②③④グループ) 情報科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書/副教材		
35	1学年 31名				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。(高1段階) (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。(高1段階) (学・人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。(高1段階A (ア)) (思判表力) ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びコンピューターの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えることができる。(高1段階Aイ (イ)) (学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(知・技) ・メディアリテラシーについて考えている。 ・PCの簡単な操作(電源のオンオフ、キーボード、マウスの操作)をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。 (思・判・表) ・SNSトラブル、ネット炎上等の事例で学び、加害者、被害者にならないよう注意する点を理解している。 ・個人情報とは何か具体的に説明できる。 (主学) ・情報モラルについての理解を深め「相手の気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 [評価資料] ・活動の様子 ・タイピング	情報とメディア ・情報とメディアという言葉について考えよう。 ・情報の偏りと評価 (情報の偏りと評価について考えよう。) ・匿名性・信憑性 ・マスメディア ・メディアの利用	・情報とメディアという言葉について考える。 ・情報の偏りと評価 (情報操作、信憑性) についてデマメール等の事例を活用し学習する。 ・メディアリテラシー (情報の信憑性や価値を正確に判断できる能力) について考える。 ・PCの基本的な操作を学ぶ。(電源のオンオフ、各種アプリの操作) ・検索エンジンの利用
	6	(知及技) ・身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知ることができる。(高1段階 B (ア)) (思判表力) ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。(高1段階 Bイ (ア)) (学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(知・技) ・匿名性、記録性の意味を理解している。 ・情報機器の普及、発達により、表現活動が多様化していることを理解している。 (思・判・表) ・携帯電話やタブレット端末の利用で個人が情報を発信することが容易になっていることを理解している。 (主学) ・情報を加工し発信する方法が分かり、意見を交換し作品を作ることができる。 [評価資料] ・活動の様子 ・作品、提出物	インターネットの匿名性 ・会員カードやポイントカードの個人情報 ネットワークで広がる世界 ・情報共有サイト (SNS、動画共有サイト等)	・CMCでは個人を特定する情報を隠すことが可能…匿名性、しかし利用者は匿名のつもりでも情報発信は記録が残る。プロバイダ責任制限法 (誹謗中傷や著作権侵害等の被害があればプロバイダに発信者の開示を請求できる。) ・かつては不特定多数の人々に対して個人が情報を発信する手段は限られていたが、今日では比較的簡単に、費用もほとんどかからない。ソーシャルメディアの利用で情報発信の形が変化している。 ・コンピュータグラフィックス、バーチャルリアリティを活用した産業分野、学術分野の発展。 ・正確な情報発信のために5W1Hを活用する。 ※情報モラルについては年間を通して適宜取り上げ学習する。
2 学期	7	(知及技) ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知ることができる。(高1段階 C (ア)) (思判表力) ・情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えることができる。(高1段階 Cイ (ア)) (学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(知・技) ・ユーザID、パスワードを入力することができる。 ・情報セキュリティポリシーの必要性を理解している。 (思・判・表) ・コンピュータウイルスへの対策、ネットワーク詐欺に遭わないための注意点を理解している。 (主学) ・犯罪に巻き込まれたり被害に遭った場合、保護者や専門家に相談する等、対処方法を理解している。 [評価資料] ・活動の様子 ・作品、提出物	不正アクセスによる問題 ・情報セキュリティを高める技術 情報セキュリティを高める技術 ・ファイアウォール ・二重認証	・ユーザID、パスワードの入力方法。「」 ; ; 記号の入力方法を学習する。安全で管理しやすいパスワードを考える。 ・情報セキュリティポリシー (企業や学校が持つ情報資産を脅威から守るために設けられた一種の規則、データの暗号化、アクセス制限や利用時間の制限等) ・ネットワーク犯罪の被害者にならないために犯罪の手法を知り、犯罪に巻き込まれそうになったとき保護者や先生、専門機関に相談する。 ・コンピュータウイルスに感染した例を学習し、感染対策の方法と、感染した場合の対処方法を学ぶ。 ・正確な情報発信のために5W1Hを活用する。 ※情報モラルについては年間を通して適宜取り上げ学習する。
	5	(知及技) ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知ることができる。(高1段階 C (ア)) (思判表力) ・情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えることができる。(高1段階 Cイ (ア)) (学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(知・技) ・ユーザID、パスワードを入力することができる。 ・情報セキュリティポリシーの必要性を理解している。 (思・判・表) ・コンピュータウイルスへの対策、ネットワーク詐欺に遭わないための注意点を理解している。 (主学) ・犯罪に巻き込まれたり被害に遭った場合、保護者や専門家に相談する等、対処方法を理解している。 [評価資料] ・活動の様子 ・作品、提出物	不正アクセスによる問題 ・情報セキュリティを高める技術 情報セキュリティを高める技術 ・ファイアウォール ・二重認証	・ユーザID、パスワードの入力方法。「」 ; ; 記号の入力方法を学習する。安全で管理しやすいパスワードを考える。 ・情報セキュリティポリシー (企業や学校が持つ情報資産を脅威から守るために設けられた一種の規則、データの暗号化、アクセス制限や利用時間の制限等) ・ネットワーク犯罪の被害者にならないために犯罪の手法を知り、犯罪に巻き込まれそうになったとき保護者や先生、専門機関に相談する。 ・コンピュータウイルスに感染した例を学習し、感染対策の方法と、感染した場合の対処方法を学ぶ。 ・正確な情報発信のために5W1Hを活用する。 ※情報モラルについては年間を通して適宜取り上げ学習する。
3 学期	4	(知及技) ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知ることができる。(高1段階 C (ア)) (思判表力) ・情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えることができる。(高1段階 Cイ (ア)) (学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(知・技) ・ユーザID、パスワードを入力することができる。 ・情報セキュリティポリシーの必要性を理解している。 (思・判・表) ・コンピュータウイルスへの対策、ネットワーク詐欺に遭わないための注意点を理解している。 (主学) ・犯罪に巻き込まれたり被害に遭った場合、保護者や専門家に相談する等、対処方法を理解している。 [評価資料] ・活動の様子 ・作品、提出物	不正アクセスによる問題 ・情報セキュリティを高める技術 情報セキュリティを高める技術 ・ファイアウォール ・二重認証	・ユーザID、パスワードの入力方法。「」 ; ; 記号の入力方法を学習する。安全で管理しやすいパスワードを考える。 ・情報セキュリティポリシー (企業や学校が持つ情報資産を脅威から守るために設けられた一種の規則、データの暗号化、アクセス制限や利用時間の制限等) ・ネットワーク犯罪の被害者にならないために犯罪の手法を知り、犯罪に巻き込まれそうになったとき保護者や先生、専門機関に相談する。 ・コンピュータウイルスに感染した例を学習し、感染対策の方法と、感染した場合の対処方法を学ぶ。 ・正確な情報発信のために5W1Hを活用する。 ※情報モラルについては年間を通して適宜取り上げ学習する。
留意点					

令和 5年度 高等部 1年 (Ⅱ課程B類型) 情報科 年間指導計画

単位数 /配当 時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
35	1年 9名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。(1段階)</p> <p>(思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。(1段階)</p> <p>(学・人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。(1段階)</p>
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	<p>(知及技) ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付ける。(高1段階 A ア)</p>	<p>(知・技) ・メディアリテラシーについての理解を深めようとしている。 ・iPadの簡単な操作(電源のオンオフ、アプリの操作)をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。</p>	<p>情報とメディア ・メディアの利用</p>	<p>・iPadの基本的な操作を学ぶ。電源のオンオフ、各種アプリの操作。 ・検索エンジンの利用</p>
	5	<p>(思判表力) ・情報に関する身近で基本的な法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考える。(高1段階 A イ)</p> <p>(学・人) ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(思・判・表) ・個人情報とは何か理解しようとしている。</p> <p>(主学) ・「相手を気持ち考えたコミュニケーション」を心掛けている。</p> <p>[評価資料] ・活動の様子</p>	<p>情報モラル ・個人情報1 ・ネット依存1</p>	<p>・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人を不快にさせない」 ・SNSトラブル事例(動画NHKforschoolより)を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報(住所、氏名、電話番号、写真…)むやみに公開してはならないことを学ぶ。 個人情報カード教材を利用し「教えてはいけない」情報の理解を促す。</p>
	7	<p>(知及技) ・身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知る。(高1段階 B ア)</p> <p>(思判表力) ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考える。(高1段階 B イ)</p> <p>(学・人) ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(知・技) ・情報機器の普及、発達により、表現活動が多様化していることを理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表) ・携帯電話やタブレット端末の利用で個人が情報を発信することが容易になっていることを理解しようとしている。</p> <p>(主学) 情報を加工し発信する方法が分かり、作品を作ることができる。</p> <p>[評価資料] ・活動の様子 ・作品、提出物</p>	<p>メディアの発達 ・手紙と電話 ・携帯電話とインターネット</p> <p>誰でも表現者・発信者の時代 ・表現活動の多様化 ・デジタル機器の普及、発達 ・個人情報2 ・ネット依存2</p> <p>写真加工に挑戦しよう ・クリスマスカードを作ろう</p>	<p>・手紙→電話→携帯電話→メール→SNS等… メディアの発達を知る。(動画視聴 NHKforschool)</p> <p>・写真撮影、印刷、模造紙にまとめ発表(情報発信)を行う。 ・ネット依存についてカードを使い、ネット依存症予防をどのように行うかゲームを通して学ぶ。</p> <p>・簡単なクリスマスカードの作成。</p>
3 学期	5	<p>(知及技) ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付ける。(高1段階 A ア)</p>	<p>(知・技) ・メディアリテラシーについての理解を深めようとしている。 ・iPadの簡単な操作(電源のオンオフ、アプリの操作)をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。 ※活動の様子で評価。</p>	<p>情報とメディア ・メディアの利用</p>	<p>・iPadの基本的な操作を学ぶ。電源のオンオフ、各種アプリの操作。 ・検索エンジンの利用</p>
	4	<p>(思判表力) ・情報に関する身近で基本的な法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考える。(高1段階 A イ)</p> <p>(学・人) ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。(高1段階)</p>	<p>(思・判・表) ・個人情報とは何か理解しようとしている。</p> <p>(主学) ・「相手を気持ち考えたコミュニケーション」を心掛けている。</p> <p>[評価資料] ・活動の様子 ・作品、提出物</p>	<p>情報モラル ・個人情報3 ・ネット依存3</p>	<p>・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人を不快にさせない」 ・SNSトラブル事例(動画NHKforschoolより)を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報(住所、氏名、電話番号、写真…)むやみに公開してはならないことを学ぶ。 個人情報カード教材を利用し「教えてはいけない」情報の理解を促す。</p>
留意点 引継ぎ等	<p>メディアの利用、情報モラルについては定着を図りたいため繰り返し学習する。機器の貸し借りや時間内での利用等のマナーも学期を通して指導する。DVD等の視聴は生徒の状態をみながら適宜、個別で視聴できるよう配慮する。</p>				